

レバノン即時・全面停戦を求める声明

イスラエル軍によるヒズボラ掃討作戦と、それに対するヒズボラからの報復攻撃はとどまることを知らず、すでに1000名を越える人命が失われていると伝えられている。

JR総連は、あらゆるテロ・戦争に反対し、平和を求める立場から、双方の武力攻撃に強く抗議し、イスラエル軍の撤退と、即時・全面停戦を求める。

今、協力して停戦のための努力を求められている国連安全保障理事会は、大国のエゴにより、その任務を放棄したかのようである。まさにこの瞬間も無辜なる市民が犠牲になっている現実を直視し、これ以上の犠牲を出さないためのあらゆる方策を講じなければならない。

2度の原爆の日と、敗戦の日を迎える日本では、戦争体験の風化とそれに乗じた軍国主義の台頭が懸念される。中東の戦禍は決して対岸の火事ではない。平和を希求するすべての市民、労働組合が結集して、この蛮行に抗議の声を上げ、国際社会に対して働きかけることを訴える。

2006年8月9日

全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)

執行委員長 小田裕司